

○その名は JO いんつ ～地域創造系 2年 研修合宿 2日目 午後～

2日目の午後は、大田市の中高生地域貢献活動グループの「JO いんつ」との交流会を大田市民センターで行いました。



JO いんつは、大田市内の中高大学生のグループで、楽しく (joy) つながる (joint) をモットーに、大田市の公民館活動を支えています。ボランティアの依頼をただ受けるだけでなく、自分たちも楽しく、仲間とつながっていくことを目標に活動されていました。それぞれの活動を紹介しながら、自分たちがこれからやりたいことや、そのことがどうすれば実現できるかを話し合いました。新しい発想で、若いからこそできるという可能性を信じて、今後の活動に活かしてほしいと大田市中央公民館長の岩根さん、幸増主事さんからご助言をいただきました。

○発表に向けて ～地域創造系 2年 研修合宿 2日目 夜～

宿舎へ戻り、2日間で調査した内容を、夕食をはさんで各班ごとにまとめました。夜より合流された鳥取大学武田先生に口頭で報告を行い、ご指導を受け、最終日のプレゼンに備えました。(写真右下、背中が武田先生です)



この報告の後、各班ごとにプレゼン用のパワーポイントを作成しました。その作業は、午後 11 時過ぎまでに及びました。

〇これからにどう活かしていくか ～地域創造系2年 研修合宿最終日～

研修最終日は、再び大田市役所に会場を移し、研修結果報告のプレゼンを行いました。今回の研修でお世話になった大田市教育委員会の方々や島根県立大学の西嶋先生、教育魅力化コーディネーターの森下さんも加えて、各班の発表です。



- 発表内容は、①大田市のふるさと教育について
②大森町のIターン、Uターンの現状について
③教育魅力化コーディネーターとの交流について
④JO いんつとの交流について

それぞれのグループが、今回の研修で学んだこととともに、香美町でもどのようなことにつなげていけるか報告しました。そして、報告を聞いていただいた皆さんからも感想、ご意見をいただきました。



その後、鳥取大学武田先生より、ふるさと教育の教材作りについて講義をいただきました。(左写真)

小学生向けのゲームを考えていきましたが、「空き家」というテーマが生徒から出されたので、なかなか苦労しました。検討を進める中で「空き家リフォームゲーム」という形のものが出来上がりました。

使用目的、管理、経済性、持続可能かなど小学生には難しそうでしたが、得られた情報やアイデアは、香美町にも適応できそうなことも多く、今後の取り組みにもつながっていくと思われます。

3日目の午後は、今回の各自のふりかえりを行いました。とても充実した3日間であったと生徒たちは話していました。私にとっても、生徒のすばらしい頑張り感激するとともに、先生方のご指導に本当に感謝したいと思います。

午後2時過ぎ、今回お世話になった大田市教育委員会の方々にお礼を言って大田市を後にしました。暑い、熱い(内容)研修合宿が終了しました。